

第1回審議会 各委員からの意見一覧

参考資料 2

意見主旨		資料 該当箇所	
1	雇用の創出や、限られた資源の中で工夫しながら活性化していくことが一番大事ではないか。	P8	【3 まちづくりの視点】 3 地域資源を活かした価値の創出と地域経済の循環 ・（前略）本市の地域資源を活用するだけでなく、磨き上げや組み合わせにより新たな価値を創出し、付加価値の高い産業やサービスの展開につなげ、（中略）地域で生み出された価値を域内で循環する経済の仕組みづくりを進める視点が重要となります。
		P9	【4 目指すまちの姿】 「2 まちに活気や賑わいがあり、ここで仕事をして暮らしていきたいと思えるイメージ像」 ・（前略）これまで培われてきた水産業や観光業をはじめとする基幹産業に加え、本市が有する地域資源やポテンシャルを活かし、（後略） ・多様な人材が活躍できる環境づくりを進める（以下略）
2	函館に住んでいる人がその魅力に気づいていないのではないか。	P4	【2 本市を取り巻く状況】 2 本市の特性 （2）地域資源 ①名所 ②史跡 ③名産品 ④施設 ⑤公園 ⑥交通 ※強み・魅力を明記
3	市民の皆さんにどうやって函館の魅力を伝えていくかが大きなポイントではないか。	P8	【3 まちづくりの視点】 2 シビックプライドの醸成 ・（前略）市民一人ひとりが地域に愛着と誇りを持ち、自分事として主体的に地域活動や地域課題の解決へ関わる視点が重要となります。
4	「グリーン・デスティネーションズ」のような持続可能な観光に関する国際的な基準を定めている団体の認定をもらうため、積極的に審査を受けに行ったりすることで函館自身の価値が高まるのではないか。	P12	【5 実現に向けて】 2 基本施策 （4）世界に誇る強みと魅力にあふれる持続可能なまち ⑩世界に誇れる都市の価値と魅力の創出 ・観光や食、歴史・文化など函館の魅力ある地域資源を活かし、国内外に誇れる都市の魅力と価値を高める（後略）
5	若者のシビックプライドの育成が鍵となる。学校教育における若者のシビックプライドの育成に力を入れるのが大事ではないか。	P8	【3 まちづくりの視点】 2 シビックプライドの醸成 ・（前略）市民一人ひとりが地域に愛着と誇りを持ち、自分事として主体的に地域活動や地域課題の解決へ関わる視点が重要となります。

意見主旨		資料 該当箇所	
6	若者に函館のまちの良さに気づいてもらい、残ってもらうためにはどんな方法があるのか。	P10	【5 実現に向けて】 1 基本方針 (3) 多様な仕事や働き方を選び、将来を描けるまち ・誰もが自分らしく働き、将来に希望を持ちながら多様な働き方を選択できるよう、柔軟な雇用環境の整備やD Xの推進、人材育成、起業支援などに取り組むとともに、観光や食、農林水産業など地域資源を活かした産業振興や新たな産業の創出を進めることで、地域経済の活力を高めながら、将来を担う人材が地域で挑戦し活躍できるまちを目指します。
7	帰ってきたいと思える街であることが大事なポイントで、帰ってきた人たちが何かに挑戦できる、ここでトライしてみようと思えるようなまちであつたら良いのではないかな。	P10 P12	【5 実現に向けて】 1 基本方針 (1) 人にやさしく、住み続けたい・帰ってきたいと思えるまち 【5 実現に向けて】 2 基本施策 (3) 多様な仕事や働き方を選び、将来を描けるまち ⑧地域経済を支える人材育成と事業者支援 ・(前略)自分らしい未来を選択できる環境を整えるとともに、幸せを実感しながら、住み続けたい・帰ってきたいと思えるまちを目指します。 ・(前略)起業の促進に加え、地域経済を担う若者や多様な人材の育成に取り組むとともに、事業者の成長を支援します。
8	公衆衛生の観点からも、交通の便からも生活していく上で大変なところがあり、基本方針(2)の「笑顔と活気にあふれ、機能的で暮らしやすいまち」を要望したい。	P10	【5 実現に向けて】 1 基本方針 (2) 笑顔と活気にあふれ、機能的で暮らしやすいまち ・市民一人ひとりが、健康で生きがいを持ち、安心して暮らし続けられるよう、医療や福祉の充実に加え、(中略)誰もが笑顔で生き生きと暮らすことができる、安全で安心なまちを目指します。
9	高齢者の移動手段が限られてきてしまうことから、公共交通がすべてを考える上で重要な交通手段になってくると感じる。公共交通を念頭にしたような表現ができればより良いのではないかな。	P11	【5 実現に向けて】 2 基本施策 (2) 笑顔と活気にあふれ、機能的で暮らしやすいまち ⑤安心して快適な生活環境の形成 ・公共交通の維持・確保など地域生活を支える環境づくりを進める(中略)安心して快適な暮らしの実現を目指します。
10	若者に地域に残っていただく視点として、将来の産業を見据えて、地域ニーズ、産業ニーズにマッチした高度な人材の育成も目指していくというような視点がほしい。また、若い人たちが函館で、ローリスクで挑戦できる、スタートアップができるといった視点も大事ではないかな。	P10	【5 実現に向けて】 1 基本方針 (3) 多様な仕事や働き方を選び、将来を描けるまち ・誰もが自分らしく働き、将来に希望を持ちながら多様な働き方を選択できるよう、柔軟な雇用環境の整備やD Xの推進、人材育成、起業支援などに取り組むとともに、観光や食、農林水産業など地域資源を活かした産業振興や新たな産業の創出を進めることで、地域経済の活力を高めながら、将来を担う人材が地域で挑戦し活躍できるまちを目指します。

意見主旨		資料 該当箇所		
11	文化・芸術やスポーツ活動が果たす役割というもの重要ではないか。	P12	【5 実現に向けて】 2 基本施策 （4）世界に誇る強みと魅力にあふれる持続可能なまち ⑩世界に誇れる都市の価値と魅力の創出	観光や食，歴史・文化など函館の魅力ある地域資源を活かし，（中略）文化・スポーツの振興を図ります。
12	若者などが函館に来てもらうような内容はどこに入ってくるか。	P4	【2 本市を取り巻く状況】 2 本市の特性 （2）地域資源	①名所 ②史跡 ③名産品 ④施設 ⑤公園 ⑥交通 ※強み・魅力を明記
		P8	【3 まちづくりの視点】 4 選択と集中による未来への投資	・（前略）限られた財源の中で中長期を見据え，子どもたちや若者への投資，さらには地域資源を活かした魅力あるまちづくりなどへ重点的に配分する視点が重要となります。
		P12	【5 実現に向けて】 2 基本施策 （3）多様な仕事や働き方を選び，将来を描けるまち ⑦多様で柔軟な働き方を実現する雇用環境の充実 ⑧地域経済を支える人材育成と事業者支援	・若者の地元就職やU I ターン就職の促進，（中略）誰もが柔軟な働き方を選択できる雇用環境の充実を図ります。 ・（前略）起業の促進に加え，地域経済を担う若者や多様な人材の育成に取り組むとともに，事業者の成長を支援します。
13	送り出す親が，子どもに対して，いろいろ外を見て大きくなって帰っておいで，いつでも待っているからねというような気持ちで送り出してあげることが大事ではないか。	P11	【5 実現に向けて】 2 基本施策 （1）人にやさしく，住み続けたい・帰ってきたいと思えるまち ①支え合いと幸せを実感できる郷土づくり	・（前略）地域のつながりを大切にしながら，郷土への愛着と誇りを育み，幸せを実感できるまちづくりを進めます。

意見主旨		資料 該当箇所		
14	稼げるまちであるか、函館で十分に子どもを産んで育てられる環境があるかどうかが生産率を上げて若年層を増やし、今後の人口減に歯止めをかけられるかどうかにつながる大きな視点なのではないか。	P8	【3 まちづくりの視点】 3 地域資源を活かした価値の創出と地域経済の循環	・（前略）付加価値の高い産業やサービスの展開につなげ、国内外からの需要も取り込みながら、地域で生み出された価値を域内で循環する経済の仕組みづくりを進める視点が重要となります。
		P11	【5 実現に向けて】 2 基本施策 （1）人にやさしく、住み続けたい・帰ってきたいと思えるまち ②安心して結婚・子育てができる環境づくり	・出会い・結婚から妊娠・出産・子育てに至るまでの切れ目のない支援の充実、（後略）
15	今ある資源を皆の知恵で活かしていき、若い人にはさらにワクワク感を持ってもらいたい。	P9	【4 目指すまちの姿】 「2 まちに活気や賑わいがあり、ここで仕事をして暮らしていきたいと思えるイメージ像」	・（前略）本市が有する地域資源やポテンシャルを活かし、（中略）今後成長が期待される分野における産業振興を推進します。